

みんなの寄付 2020 年秋期募集 申請活動終了報告書

《概要》

活動名：『打楽器アンサンブルによる、小学校での音楽鑑賞教室』

日時：2020 年 11 月

会場：神奈川県内の小学校

音楽家としてのモチベーションと技術を保つ為に海外のトッププレーヤーとのつながりを絶やさず、常に情報交換を行い、技術の向上を図り、レッスンを受けられる環境を作る。そして、それらを国内の若い音楽家や子供達へ発信する為に打楽器アンサンブルでの音楽鑑賞教室などを開催する。

《申請活動の報告および成果について》

2020 年 11 月に神奈川県内の小学校にて打楽器アンサンブルによる音楽鑑賞教室を開催いたしました。「みんなの寄付金」により、より質の高い打楽器奏者と楽器を揃える事が出来ました。

2020 年 10 月 27 日には同校にて、リハーサルを行いました。またその際、プログラムに含めた小学 5 年生の児童と「威風堂々」を合同合奏するために、リハーサルを行いました。少しの時間でしたが、児童にも演奏指導をする事ができ、有意義なリハでした。鑑賞教室直前に、近隣の学校でのコロナ感染が発生した事に伴い、1 回公演のところ、午前午後に分けての 2 回公演になりましたが、演奏中も奏者がマスクをしながら演奏可能、また管楽器とは違い飛沫がないと言う事で、学校側にとっても安心材料になったようです。

児童全体に言える事は、やはり音楽に触れる事、本当の楽器の音を聴いたり振動を感じる事が大きな刺激になったようです。また、一緒に演奏した 5 年生は、人前で演奏した事、一生懸命に仲間たちと一つの事をやり遂げた事、プロの演奏者に混ざって演奏できた事は大きな自信につながったと話してくれました。また、校歌をピアノ伴奏と打楽器アンサンブルに編曲してもらいピアノと指揮は小学 6 年生に任せ、小さな声で歌えた事も、沢山の行事がつぶれてしまった児童達にとって大きな喜びになったようです。

《今後の課題》

やはり、大量の楽器を必要とする、打楽器アンサンブルでは費用がかさみますが、楽器のグレードを妥協したくないので、楽器のレンタル・運搬面などが大きな課題だと改めて感じました。

また、コロナ禍において、打楽器アンサンブルは、飛沫感染リスクが少なく比較的安心してもらいやすいことも分かったので、その面も理解して安心して子供たちに音楽を届ける事が出来るように、学校側ともこれからも交渉していきたいと思えます。